

# 防コミの歩き方



## 地域の防災リーダーを育てるために!

### ■市民防災リーダーとは

「自分の命は自分で守る」「自分たちの町は自分たちで守る」を基本理念に、防災に関する地域住民の指導的リーダーとして、地域住民の先頭に立って消火活動や救助活動等をおこない、また、平常時には地域の方々への訓練指導等をおこなっていただくリーダーのことです。

### ■市民防災リーダー研修を実施

平成8年度から始まった地域の防災リーダーを育てる「市民防災リーダー研修」も今年で22回目を数え、須磨区内の防災福祉コミュニティではこれまで延べ約750人の方がリーダー研修を受講されています。

今年は5月28日に21地区48人の方が集まり、須磨消防署及び周辺の公園で実施されましたので、内容をいくつかご紹介いたします。

#### \*土砂災害・津波避難に関する知識の習得

パワーポイントを使用し、過去に発生した風水害の写真やイラスト等も交えながら、土砂災害の怖さや津波を含めた避難する際の注意点等について学習しました。

#### \*要援護者の垂直避難訓練

庁舎内の階段を使用し、椅子を使った搬送方法、1人若しくは複数人でおこなう徒手搬送方法等を習得しました。



#### \*消火器取り扱い訓練

消火器のカットモデルや数種類の消火器等で消火器の特性や性能について学び、その後、受講者がお互いに教える側、教わる側になって使用方法・指導方法について習得しました。



#### \*小型動力ポンプ取り扱い訓練

女性の方などは、ポンプが機械物であるため苦手意識を持っている方が多かったのですが、基本的なエンジンのかけ方や止め方等について習得しました。



### ■今後の活動に向けて

リーダー研修の実施方法については、まだまだ考えていく余地がありますが、研修を受講された方々がそれぞれの地域に戻り、地域住民の先頭に立って防災訓練の指導をし、実際に災害が発生した時にリーダーシップを発揮できるよう、今後も「市民防災リーダー研修」を通して防災の大切さを学び、地域防災力の向上につなげていきたいと思っております。

(須磨消防署 向井 章)